





平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	学校名：松戸市立小金中学校 対象学年：全学年 人数：38人（応募による）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ドミニカ共和国との交流会） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	2020年のオリンピック・パラリンピックにおいて、松戸市でキャンプを実施予定の2か国のうち、松戸市に在住するドミニカ共和国の人と交流を持つことで、3年後に彼らが来日した折に、生徒が積極的にコミュニケーションしようとする態度を育てる。
5 取組内容	【ドミニカ共和国の人を講師として招き、言語、文化・慣習等についての交流を図る】 ①言語の理解（スペイン語） ②文化・慣習の理解 ③食文化について
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>①【言語の理解(スペイン語)】</p> <p>普段ほとんど触れることがない言語を体験することで、英語とは一味異なる言語の楽しさを味わった。</p>

	   	<p>②【文化・慣習の理解】 ドミニカの特産品や民族衣装、伝統工芸品などの実物を紹介していただき、生徒はドミニカ共和国という国にとっても興味を持った。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックを活用することで、松戸市を訪れる外国の人を想定した授業展開ができる。</p>	<p>③【食文化について】 2品を作成した。一つは鶏肉のトマトソース煮。もう一つはドミニカ風お赤飯。パクチーを使ったエスニカン風味は、生徒の関心を引いた。 調理の際には講師が6つの班をそれぞれ巡回指導し、スペイン語と英語と日本語をミックスして、ドミニカの人を身近に感じながら楽しく実習が進んだ。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>【外国人とのふれあい】 ・体験型の講座とするために少人数とし、教室で行い外国人講師と生徒との距離を近づけた。 【食文化体験】 ・生徒の意欲を高めるために、講師の方とともにドミニカ共和国の特徴的な料理を作ったり、試食したりして交流を一層深めたこと。</p>	<p>8 主な課題等</p> <p>・言葉の問題から事前の打合せや準備などを松戸市観光協会のスペイン語が分かる方を仲介してドミニカ共和国と行っていたため、メールでのやり取りが中心となり、時間がかかったこと。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>・松戸市がホストタウンとしているもう一つの国であるルーマニア共和国との交流も計画したい。</p>	